



農林水産省登録
第19457号

バイデートTM L 粒剤

殺虫・殺センチュウ剤

殺虫・殺センチウ剤

殺虫剤分類

1A

■ 適用害虫の範囲と使用方法 ※令和5年9月現在

農林水産省登録
第19457号

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサミルを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	30kg/10a	植付前	1回	全面土壌混和	1回
	ネグサレセンチュウ	20kg/10a			植溝処理土壌混和	
ピーマン	アブラムシ類	1.5~2.5g/株	育苗期		株元処理	2回以内 (育苗期の株元処理は1回以内 定植前の土壌混和は1回以内)
	ミナミキイロアザミウマ	1~2.5g/株	定植前		全面土壌混和	
メロン(地床)	ネコブセンチュウ	50kg/10a	育苗期		株元処理	
メロン(揚床)	ミナミキイロアザミウマ	1~2.5g/株	定植前		全面土壌混和	
きゅうり	ネコブセンチュウ	40~50kg/10a	定植前		は種前又は定植前	全面土壌混和
	ネグサレセンチュウ	25~50kg/10a	定植前			
すいか	アブラムシ類	1~2.5g/株	育苗期		株元処理	
	ミナミキイロアザミウマ	1~2.5g/株	定植前		全面土壌混和	
レタス	ネコブセンチュウ	40~50kg/10a	定植前		1回	全面土壌混和
リーフレタス	ネグサレセンチュウ	40kg/10a	定植前但し、 収穫75日前まで			
トマト ミニトマト	ネコブセンチュウ	25~50kg/10a	定植前		1回	全面土壌混和
だいこん	アブラムシ類	20~50kg/10a	は種前			
にんじん	ネコブセンチュウ	20~37kg/10a	は種前		全面土壌混和	
ごぼう	ネグサレセンチュウ	40~50kg/10a				
もりあざみ	キタネグサレセンチュウ	40~50kg/10a	植付前(挿苗前)		作条土壌混和 全面土壌混和	
かんしょ	ネコブセンチュウ	30~40kg/10a				
やまのいも	ネコブセンチュウ	40~50kg/10a	植付前		作条土壌混和 全面土壌混和	
だいず	ダイズシストセンチュウ	6kg/10a	は種前又は定植前			
あずき	ダイズシストセンチュウ	30kg/10a	は種前	作条土壌混和 全面土壌混和		
		6kg/10a				
えだまめ	ダイズシストセンチュウ	30kg/10a	は種前又は定植前	作条土壌混和 全面土壌混和		
		6kg/10a				
にがうり	ネコブセンチュウ	40kg/10a	定植前	全面土壌混和		
にんにく	イモグサレセンチュウ	30~50kg/10a	植付前			

■ 使用上の注意

- 石灰など、アルカリ性肥料との同時施用はさけてください。
- 水源池、飲料用水、養魚池、養魚田等に本剤が飛散流入しないよう十分注意してください。
- ばれいしょの全面土壌混和に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 本剤は植物体に吸収されて効果をあらわしますが、土壌中のジャガイモシストセンチュウに対する直接的な殺虫力は弱い。残効期間も比較的短いので、ジャガイモシストセンチュウの防除に使用する場合はばれいしょの植付直前に使用することが望ましいです。
 - ② 圃場全面に均一に散布し、20~25cmの深さに土壌と十分混和してください。散布や混和が不均一な場合には薬効不足や初期生育の遅延などの薬害を生じることがあるので注意してください。
 - ③ 一時に広範囲に使用する場合には散布中粉末を吸い込んだり、皮膚につけたりしないため、散布機具は飛散が少なく、均一に散布できる乗用トラクター装着粒剤施用機(単純な重力落下方式)を用いてください。手播、人力散粒機、乗用型以外の動力散粒機などによる散粒は行わないでください。
- だいず、えだまめ及びあずきに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 本剤は植物体に吸収されて効果をあらわしますが、土壌中のダイズシストセンチュウに対する直接的な殺虫力は弱い。残効期間も比較的短いので、だいず及びあずきではは種直前に、えだまめではは種又は定植直前に使用することが望ましいです。
- ピーマン、メロン、きゅうり及びすいかの育苗鉢に使用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ① 本剤が葉に付着しないよう育苗鉢の土壌表面に均一に散布してください。
 - ② 表土が乾燥している場合は、効力が劣ることがあるので、処理後軽く散水してください。
 - ③ 育苗初期には薬害を生ずるおそれがあるので、所定範囲の低薬量で処理してください。
- センチュウ防除に使用する場合は、散布や混和が不均一な場合には薬効不足や薬害を生じることがあるので、作物の根のまわりに均等に分布するよう土壌とよく混和してください。
- 本剤を使用した大根のつまみ菜、まびき菜は食用に供さないでください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の畜舎にはからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の処置を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の処置を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 過労時には散布作業に従事しないでください。また同一人が長時間継続して散布作業を行わないでください。
- 散布にあたっては子供や散布に関係のない者などが作業現場に近づかないようにしてください。
- 使用後の空袋や空容器は圃場などに放置せず、必ず安全な場所に処理してください。
- 本剤は毒性が強いので、取扱いには特に注意して危害防止に努め、決められた使用条件を厳守し、また絶対に所定の適用以外に使用されることのないよう管理してください。
- 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密閉して保管してください。

本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。● 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。● 防除日誌を記帳しましょう。